

2019.04.15 「東北大学中国人留学生講習会」

日本で就職を目指す留学生の 就職支援について

東北大学高度教養教育・学生支援機構
キャリア支援センター

特任准教授

門間 由記子

本日のアジェンダ

- ☑ 日本における就職活動の留意点
- ☑ 東北大学における外国人留学生のキャリア支援

日本における就職活動の留意点

- ☑ 専攻と就職先は必ずしも関連していない
(博士学生、研究職希望者を除く)
- ☑ 文系・理系ともにN2レベルの日本語能力と伝えたい
という熱意が求められる (提出書類は日本語)
- ☑ 新卒一括採用のため、大手企業の採用スケジュール
は重複している
- ☑ 意欲や可能性、協調性等、人物を評価される

日本における就職活動スケジュール

*今後のスケジュール変更は未定

時期	就職活動準備期間								就職活動期間										
学年	学部3年・修士1年・博士1年								学部3年・修士1年・博士2年										
年度	2019年								2020年										
月	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
	インターンシップ					インターンシップ													
						合同説明会													
						業界研究会													
								個別説明会											
								エントリー											
								エントリーシート提出											
								筆記試験											
								面接											
								内々定											
	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネス日本語の習得 ・日本人とのチームワーク ・日本人の友人 																		

*日本のインターンシップは採用直結ではありません。
 *就職活動は卒業後ではなく、在学中に始め、3月に卒業後、4月から働き始めます。

東北大学における外国人留学生のキャリア支援

東北大学キャリア支援センター

場所：教育・学生総合支援センター3階

時間：8：30～18：30（月～金）



利用できるサービス

- 1 情報検索サービス
キャリア・インサイトによる職業適性診断
求人票の検索、卒業生名簿の閲覧
- 2 個別相談（予約番号：022-795-4705）
相談員と1対1で相談 30分/回、10：00～18：00
- 3 各種セミナーの開催
- 4 外国人留学生を対象とした就職支援プログラムへの参加
DATEntre東北イノベーション人材育成プログラム



教育・学生総合支援センター (A01)

DATEntre 東北イノベーション人材育成プログラム

目的

日本でのキャリア形成に関心を持つ留学生の日本語運用能力、日本的企業文化への理解等を高め、日本での就職支援を行うこと

募集人数

各期30名（3月・9月）

応募資格

「SPOT90(Simple Performance-Oriented Test Ver.90)
(日本語能力を判定するオンラインテスト) で65点以上を
取得し、正規生として学部・大学院に在籍する学生



企業と共に取り組む課題：インターンシップ、GD講座



夏季インターンシップ

在仙企業・大手企業等 20社で受け入れ



グループ・ディスカッション対策講座

在仙・大手企業等10社と共にGDを実施

イノベーション創発塾 (対象：博士学生)

アカデミアや産業界で必須となるコミュニケーション力／プロジェクトマネジメント力等の能力を増強するための教育プログラム



Interdisciplinary activity in the course

This course provided me a precious chance to discuss with Ph.D. students from different research fields, which really helped broaden my horizons on treating with problems. People tend to concentrate on their own fields, and are more inclined to think from their professional perspectives. However, the world is diverse and is constructed by intertwined multiple dimensions. It is necessary to analyse problems from both our own professional fields and nonprofessional fields. This course has helped that. You could get to know how to consider a problem from your nonprofessional fields through the discussion with other Ph.D. students. In addition, you could learn how to combine all the factors together to reach an agreement, since members in the same group need to be integrated and conclude their ideas into one complete story.



Di Yin

Graduate School of Economics
and Management, D2